

ほろいずみ ニュース No. 144

発行: えりも町郷土資料館ほろいずみ・水産の館 発行日: 令和元年8月1日
〒058-0203 北海道幌泉郡えりも町字新浜207番地
TEL: 01466-2-2410 E-mail: erimomus@cocoa.ocn.ne.jp
<http://www.town.erimo.lg.jp/horoizumi/>

生き物調査隊

7月20日、悲恋沼が霧と強風だったこともあり、新浜の磯で生き物探しを実施。

最初に港の船上げ斜路で、あたりめを餌にイソガニ釣りに挑戦しましたが、捕まえることができませんでした。



場所を磯へ移動し、生き物探しを行い「カジカ・ムロランギンポ」などの稚魚を確認。



郷土資料館へ戻り、捕まえた生き物のまとめを行ったあと、イソガニとミズハゼを水槽に入れ、放課後児童クラブを訪問し、タッチプールを行い子どもたちに喜ばれました。

イソガニとミズハゼは、水産の館に設置している水槽へ移動し、飼育をしてく

ますので、来館の際には水槽の何処に隠れているか探してみてください。



8月7日は七夕です！

本州の七夕は7月7日ですが、北海道の七夕はひと月遅い8月7日。

郷土資料館では7月20日から8月10日までの間、資料館ホールに七夕飾りを設置しています。

最近では、自宅前にヤナギやササを立て飾りつけし、七夕を行う家庭が少なくなってきました。

皆さんも短冊にお願い事を書いてみてはいかがでしょうか。



アイヌ語de動植物⑳ ～スズメ～



スズメは、ハタオリドリ科に分類されるもっとも身近な鳥類です。住宅の周辺に生息し、森林にはほとんどいません。一年中見られる鳥ですが、一部は日本国内での渡りが確認されています。

スズメは、イネの害鳥のように思われていますが、一年を通してみると、多くの雑草や昆虫を食べています。

スズメは、人家の軒や換気口などのすき間を利用して巣をつくります。

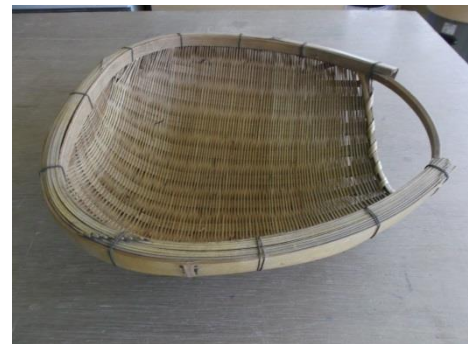
アイヌ語では「アマメチカプ」と呼ばれ、スズメはヘビや何か悪い神様がくるとさえずり、知らせてくれると考えられ、スズメが集団で騒ぐときは風が吹く、水浴びをすると雨が降るといふ伝承もあります。

参考:

『アイヌ語で自然かんさつ図鑑』(帯広百年記念館)
『アイヌ語の動植物採集』(川村正一編)11

郷土資料の寄贈がありました

本町：山中卓さんより剥製など3点、
大和：吉沢修一さんより臼と杵など3点、
近浦：田村早苗さんより竹ざるなど14点、
貴重な郷土資料品を寄贈していただきました。



寄贈品 山中さん「熊の剥製」(写真上)、
吉沢さん「臼と杵」(写真中)、
田村さん「竹ざる」(写真下)

8/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
わらしゃんど事業	わらしゃんど事業	○	○	○	休館日	○	○	○	○	○	○	休館日	○	○	○	生き物調査隊

18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	9/1	2	3
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
○	○	休館日	○	○	○	動物園飼育体験	動物園飼育体験	○	休館日	○	○	○	○	○	○	休館日

8月～9月の
開館カレンダー